

NPO全国で連携

9月に組織発足 経営力向上めざす

分野の近いNPOが集まる組織は過去にもあったが、分野にこだわらず全国連携するのは、初の試み。これまで個々に活動してきたNPOの経営力を向上させるとともに、政治や行政に対し提言、意見発信を目指す。

「関連」面

全国にはNPO法人だけで約三万六千あるが、資金難により脆弱な団体が大半。それが運動の広がり阻害要因となっている。

全国の特定非営利活動法人(NPO法人)、各種公益法人、任意団体など民間非営利団体(NPO)の全国横断的な組織が九月に発足することが八日、分かった。この組織は、日本サードセクター経営者協会(JACEVO)と「シャキーン」が活動

△21・NPOセンター代表理事の後房雄名古屋大教授、公益法人協会の大田達男理事長らが幹事に就任している。既に呼び掛け人として約六十人のNPO経営者が集まっており、九月、東京で行われる設立総会には二百人規模の参加が見込まれている。その後、さらに参加を募る方針。

JACEVOでは、NPOが相互連絡、援助をしあつことでNPOの財政規模や専門性を高める支援を行う。団体そのものが加盟するのでなく団体の経営、運営を任切る理事長、事務局長らが個人の資格で参加する。三月に設立準備会が発足。「市民フォーラ